

私の人生

動画URL : <https://youtu.be/VTCzb9onyZs>

今回は「私の人生」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には " ふりがな " があります。
後半は少しだけ速く (+20%) なり、漢字に " ふりがな " はありません。
学習にお役立てください。

■私のこと

私の名前は「山田太郎」です。山田は日本でよくある名字です。太郎は男の子の名前で、いちばん上の子どもによくつけられる名前です。私は「東京」で生まれました。東京は日本のしゅとで、とてもにぎやかで広い町です。私の家は、東京の西にある少ししずかなところにありました。東京には高い建物が多く、駅もたくさんあります。大きな公園もあるので、自然も楽しめます。

私の性格は明るくて、友だちと話すのが大好きです。人と話す元気になります。小さいころから、よく家の近くで友だちとあそびました。私は小さいころ、何かを作ることが好きでした。たとえば、紙でひこうきを作ってあそんだり、ブロックで家を作ったりしました。ひこうきを飛ばして、どれだけ遠くにとぶか試したりしました。そのとき、友だちといっしょに工夫するのがとても楽しかったです。今でも自由な時間があると、ものを作ったり、絵をかいたりするのが楽しいです。

また、私は本を読むことも好きです。特に、お話がたくさんある本が好きでした。本を読むと、知らない世界を知ることができて、とてもわくわくしました。たくさんの人物が出てくるお話や、ふしぎな生き物が出てくるお話が大好きです。読むことで、いろいろなことを学ぶのが楽しくなりました。小さいころは夜にベッドで本を読んで、楽しい気持ちのままねむることが好きでした。

私がきょうみを持っていることは、食べものことです。いろいろな国の料理を食べるのが好きです。日本では、たくさんの国の料理を食べることができます。とくに好きなのは「カレー」です。日本のカレーはインドのカレーとは少し違って、甘くてスパイシーです。私は自分でカレーを作ることもあります。

じっくりとやさいをにこんで、おいしいカレーを作るのは楽しいです。料理をすると、においや色、音など、いろいろなことを楽しむことができます。こんなふうに、私は楽しいことを見つけるのが好きです。これからも新しいことにちょうせんして、もっとたくさんを知りたいと思っています。

■私のかぞく

私のかぞくは4人です。父と母、それから兄と私です。私たちは、とてもにぎやかなかぞくでした。父はしごとでいそがしいことが多かったです。でも、週末には、できるだけ時間を作ってくれました。そのおかげで、かぞくみんなでいっしょに過ごす時間が多かったです。特に、かぞくみんなで出かけるのが楽しかったです。よく近くの公園に行ってピクニックをしました。公園では、おいしいおべんとうを食べたり、キャッチボールをしたりしました。

母はとてもやさしくて料理が上手でした。母が作る料理は、どれもおいしくて、毎日の食事が楽しみでした。とくに好きだったのは、母が作るカレーです。やさいがたくさん入っていて、甘くてスパイシーな味でした。母といっしょに台所で料理を手伝うこともありました。そのときは、やさいを切ったり、テーブルのじゅんびをしたりしました。母と話しながら料理をするのは、特別な時間でした。

兄は私より3歳上で、とても元気な人です。兄は運動がとくいで、よく外でいっしょにあそびました。兄といっしょに川で魚をつかまえたり、夏には花火をしたりしました。川の水はつめたくて気持ちがよく、魚を見つけるのはとても楽しかったです。花火をする日は、夜になっても外がにぎやかで、みんなで空を見上げてきれいな光を楽しみました。

私のかぞくには、いくつか特別なルールがありました。たとえば、夕食の時間には、全員がそろってテーブルにすわることです。夕食のときは、みんなで今日あったことを話しました。学校で楽しかったことや、父が仕事でがんばったことを聞くのが楽しみでした。その時間は、かぞくがいっしょにいる大切なひとときでした。

そして、かぞくで旅行に行くこともありました。旅行先では、たくさんの思い出ができました。特に海に行ったときのことは、今でもよく思い出します。海ではみんなで泳いだり、貝をひろったりしました。青い海と白い砂がとてもきれいで、楽しい時間を過ごしました。このような思い出が、私にとって大事なたからものです。

■楽しい学校生活

私は小学校に通っていたころの、たくさんの楽しい思い出があります。学校は家から歩いて行ける場所にありました。朝は友だちといっしょに歩いて登校しました。

学校の門を入ると、元気なあいさつが聞こえてきて、みんなで「おはよう」と言い合うのがにっかでした。教室に入ると、先生がにこにこ待っていて、明るいふんいきの中で一日が始まりました。

学校では、いろいろな科目を学びました。中でも好きだったのは「図工」の時間です。図工では絵をかいたり、工作をしたりしました。自由に色を使ったり、紙や木を使って作品を作ったりするのは、とても楽しかったです。友だちといっしょに大きな絵をかいたときは、みんなでアイデアを出し合いながら作業しました。その作品が教室にかざられたとき、とてもほこらしい気持ちになりました。

もう一つ好きだったのは「体育」の時間です。体育では、たくさん体を動かしました。運動場でかけっこをしたり、ボールを使ったゲームをしたりしました。とくに「ドッジボール」が人気でした。ボールを投げる人のにげる人に分かれて、みんな一生けんめい動きます。私はにげるのがとくいで、さいごまで当たらずに残ったときは、すごくうれしかったです。

学校にはたくさんの行事がありました。中でも「運動会」は大きなイベントでした。運動会の日、学校の運動場にたくさんの人が集まりました。生徒は赤と白のチームに分かれて、いろいろなきょうぎで戦います。私はリレーに出ました。リレーでは、チームメイトとバトンをつなぐのが大切です。走る前はとてもきんちょうしましたが、全力で走りきったとき、友だちやかぞくが応援してくれていて、とてもうれしかったです。みんなで力を合わせてがんばる運動会は、毎年の楽しみでした。

■友だちとのあそび

学校のあとは友だちとあそぶことも楽しみの一つでした。学校の近くの公園に行き、みんなであそびました。公園には大きなすべり台があり、そこから何度もすべったり、日がしずむまであそんで、帰り道はみんなで笑いながら話したりしました。あのころの学校生活は、毎日が新しい発見と楽しさでいっぱいでした。今でも、その思い出は大切に心に残っています。

学校が終わったあとは、友だちとあそぶ時間がとても楽しみでした。私たちは学校の近くにある公園に集まって、たくさんのお遊びをしました。とくに人気だったのは「オニごっこ」です。「オニごっこ」は、オニ役の人がほかの人を追いかけてつかまえるお遊びです。

つかまるとオニが交代します。私は走るのが早かったので、よく逃げ切ることができました。オニになったときは、全力で友だちを追いかけて、とても楽しかったです。

また、別の日には「かくれんぼ」をしました。かくれんぼでは、みんなが公園のいろいろな場所にかくれて、オニ役の人に見つけられるまで待ちます。私はよく大きな木のうしろやすべり台の下にかくれました。見つからないように、しずかにかくれるのは少しドキドキしましたが、見つかったときはみんなであら笑いしていました。お遊びのたびに、どこにかくれたらいいか考えるのが楽しかったです。

夏になると、友だちといっしょに川へ行くこともありました。川の水は冷たくて、暑い日にはとても気持ちよかったです。私たちは川で小さな魚を見つけたり、水をかけ合ったりしてお遊びしました。水しぶきがあがるたびにみんなで大きな声を出して笑いしました。川の近くでスイカを食べることもあり、冷たいスイカはとてもおいしかったです。

雨の日には、家の中でお遊びしました。そのときは、友だちの家に集まって「ボードゲーム」をしたり、お話をしたりしました。おやつを食べながらゲームをする時間は、外でお遊びのとはまた違った楽しさがありました。新しくゲームのルールを考えてみたり、みんなで作るからこそ楽しいことでした。

冬には雪が降る日もありました。そんなときは、みんなで雪だるまを作ったり、雪合戦をしました。手が冷たくなってもお遊び続けて、雪合戦ではボールを投げ合って大はしゃぎしました。雪だるまは、目を石で作って、鼻ににんじんを使うのが定番でした。雪の中でお遊びのは寒かったですが、夢中になると寒さを忘れるほど楽しかったです。

このように、友だちとのお遊びはどれも楽しい思い出です。毎日が新しい発見で、みんなと笑い合いながら過ごした時間は、今でも心に残っています。友だちといっしょにあそんだことで、私はたくさんのおことを学びました。相手をおもいやる気持ちや、いっしょに楽しむ大切さは、そのころのお遊びから得たものです。

■はじめての大きなちょうせん

私が初めて大きなことにちょうせんしたのは、小学校のときでした。そのころ、学校には「水泳大会」という行事がありました。

私は泳ぐのがあまりとくいではなくて、はじめは大会に出るのがとても不安でした。でも、先生や友だちが応援してくれて、一生けんめい練習することにしました。毎日放課後にプールで泳ぎ方をくり返し練習しました。特に、息を止めて長く泳ぐ練習は大変でしたが、少しずつうまくなっていくのが分かって、がんばる気持ちが生まれました。

練習を続けるうちに、自分ができるようになることが増えていきました。そして、水泳大会の本番の日がやってきました。スタートの合図が鳴ったとき、きんちょうでむねがどきどきしました。でも、「できるだけ早く泳ぐんだ」と自分に言い聞かせて、全力で泳ぎました。ゴールにたどり着いたときは、息が切れて苦しかったですが、すぐ達成感を得ることができました。先生や友だちが「がんばったね」と言ってくれて、とてもうれしかったです。このちょうせんを通して、がんばることの大切さを学びました。

また、別のちょうせんは「ピアノの発表会」です。私は小さいころからピアノを習っていて、発表会に出ることになりました。ピアノは、右手と左手をちがう動きで使うので、うまく弾くのがむずかしいです。間違えないようにするため、何度も何度も練習しました。とくに、曲のさいごまで気を抜かずに弾くのがむずかしくて、指が疲れることもありました。でも、たくさん練習をして、曲をさいごまで弾けるようになったときは、自分の成長を感じました。

発表会の当日、私はとてもきんちょうしていました。たくさんの人が見ている前で弾くのは、少しこわかったです。でも、深呼吸をして落ち着いて、ゆっくりとけんぱんに指を置きました。曲を弾き始めると、体が少しずつリズムのっていきました。さいごの音を弾き終わったとき、会場から拍手が聞こえてきて、安心しました。そのときは「やってよかった」と心から思いました。ちょうせんすることで、自分の力を試すことができたのが、私にとって大きなけいけんになりました。

これらのけいけんを通して、私は「やればできるんだ」ということを学びました。最初はむずかしいことでも、あきらめずに続けると少しずつできるようになります。ちょうせんすることはこわいですが、その分達成したときの喜びは大きいです。これからも、新しいことにどんどんちょうせんしていきたくと思っています。

■人生のわかれみち

私が大事なせんたくをしなければならなかったときのことを話します。まず、最初のわかれ道は、中学校を卒業するときでした。そのとき、どの高校に行くかを決めなければなりません。私は勉強も大切にしたいけれど、好きなスポーツも続けたかったです。いくつかの学校を見学して、先生やかぞくと相談しました。その結果、自分の好きなことを大事にできる学校を選びました。その学校にはいい運動部があり、勉強もがんばれる環境が整っていました。選んだ学校で新しい友だちとも出会い、たくさんの楽しい思い出ができました。

次の大きなせんたくは、大学に進学するときでした。私は大学で何を学ぶか迷っていました。好きな科目は「英語」でしたが、将来の仕事にも役立つことを学びたいと思いました。そこで、いろいろな大学の説明会に行ったり、本を読んだりしました。進路に迷っているときに、ある先生がこう言ってくれました。「好きなことを学べば、きっとがんばれるよ」と。その言葉に勇気をもらい、私は英語をもっと深く学べる大学に進むことを決めました。今でも、その先生の言葉を思い出します。

そして、大学を卒業したあとの仕事も、私にとっては大きなわかれ道でした。どんな仕事をするか考えるとき、たくさんの不安がありました。会社の説明会に行くたびに、「この仕事は私に合っているだろうか」と考えました。そのとき、かぞくや友だちがたくさん助けてくれました。特に母は、私が悩んでいるときに「あなたの気持ちを大切にしてください」と言ってくれました。その言葉を聞いて、私は自分が本当にやりたい仕事を考えることができました。

私はいくつかの会社におうぼし、その中で一番興味を持った仕事にちょうせんすることを決めました。面接ではきんちょうしましたが、自分の気持ちをしっかり伝えました。そして、無事にその会社に入ることができました。はじめは新しいかんきょうに慣れるのがむずかしかったですが、自分で選んだ仕事なので、がんばることができました。このけいけんを通して、大事なせんたくをするときは自分の気持ちを大切にすることが大事だと学びました。

人生のわかれ道は、だれにとってもむずかしいものです。でも、かぞくや友だちの支えがあると、前に進む勇気が出ます。私はこれからも、自分の気持ちを大切にしながら、前向きにせんたくをしていきたいと思えます。

■今の自分と夢

今の私は、毎日とても充実した生活を送っています。私は仕事をしながら、自分の好きなことを大切にしています。私の仕事は「日本語の先生」です。日本語を学びたいと思っている外国の方に、日本語を教える仕事をしています。生徒が新しい言葉を覚えて、自分の言いたいことを日本語で話せるようになったときは、とてもやりがいを感じます。授業をじゅんびするのは大変ですが、生徒の笑顔を見るとがんばってよかったと思います。

仕事のかたわら、私はしゅみも楽しんでます。一番好きなのは「料理」です。いろいろない料理を作るのが楽しくて、家で新しいレシピにちょうせんしています。特に外国の料理を作るのが好きで、スパイスや材料を工夫して、かぞくや友だちにふるまっています。友だちが「おいしい」と言ってくると、とてもうれしいです。料理は、私にとってリラックスできる時間です。

もう一つのしゅみは「ジョギング」です。私は毎週末に近くの公園でジョギングをしています。外の空気を感しながら走ると、気分がすっきりします。ジョギングを続けることで、体も元気になり、気持ちも前向きになります。天気の良い日は、公園の中を走って花や木を見ながら自然を楽しんでいます。運動をすることで、日々の疲れもなくなる気がします。

今の生活は、仕事としゅみのバランスがとれています。私は自分の時間を大切にしながら、日々新しいことを学ぶようにしています。これからの目標は、もっと多くの人に日本語を教えることです。いつか自分の教室を開いて、たくさん生徒に日本語の楽しさを伝えたいです。生徒たちが日本語を使って夢をかなえられるように、私も成長していきたいと思っています。

また、将来はもっと料理のレベルを上げて、自分のオリジナルレシピを作ることが夢です。そのために、新しい食材や料理の技術を学びたいです。ジョギングも続けて、健康な体を作りたいと思います。こうして毎日を楽しみながら、自分の夢に向かって一歩ずつ進んでいます。これからも、新しいことにちょうせんし続け、いろいろな人と出会いながら、素晴らしい人生を作り上げていきたいです。

「私の人生」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

